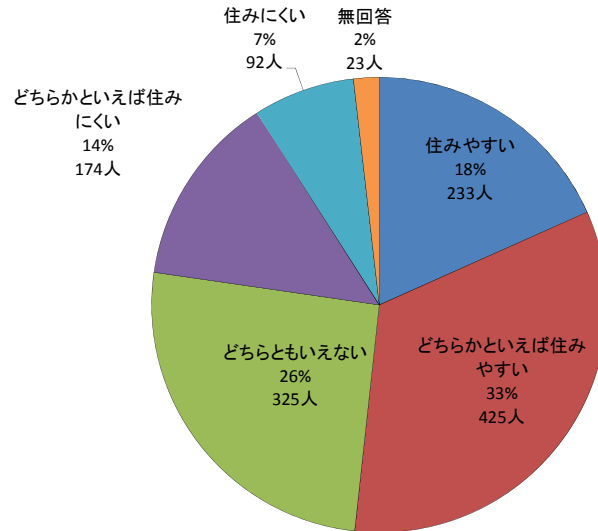


(4) 定住意向【問3～問5】

1) 住みやすさ【問3】

◆単純集計

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が51%と高く、**住みやすいと感じている人が多い**傾向にある。

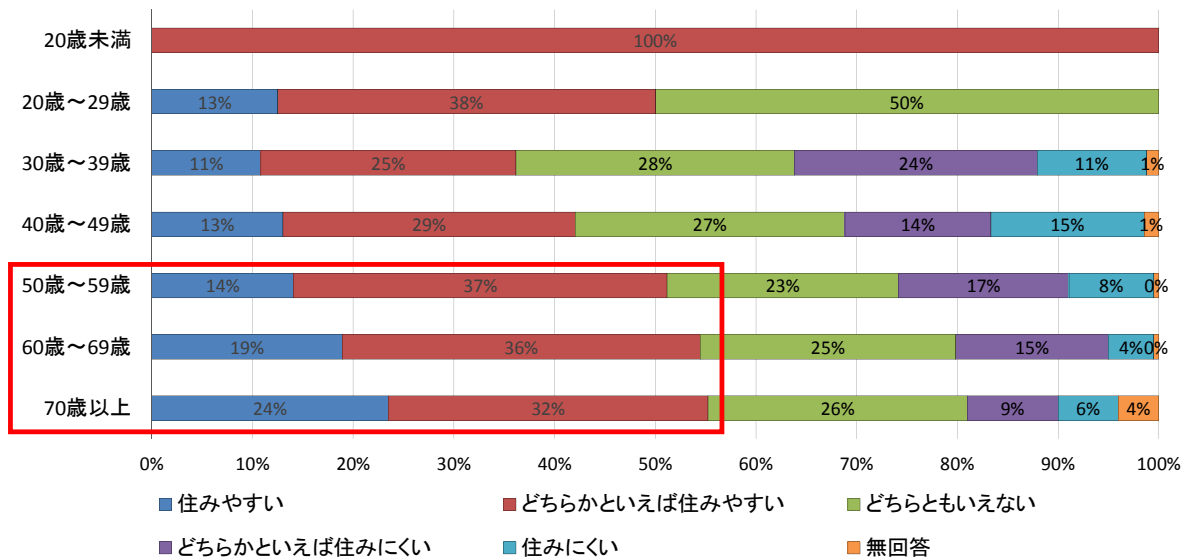


◆クロス集計【年齢×住みやすさ】

年齢別に見ると、全ての年代で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」が多くなっているが、特に、高齢者ほど住みやすいと感じている人が多い傾向にある。

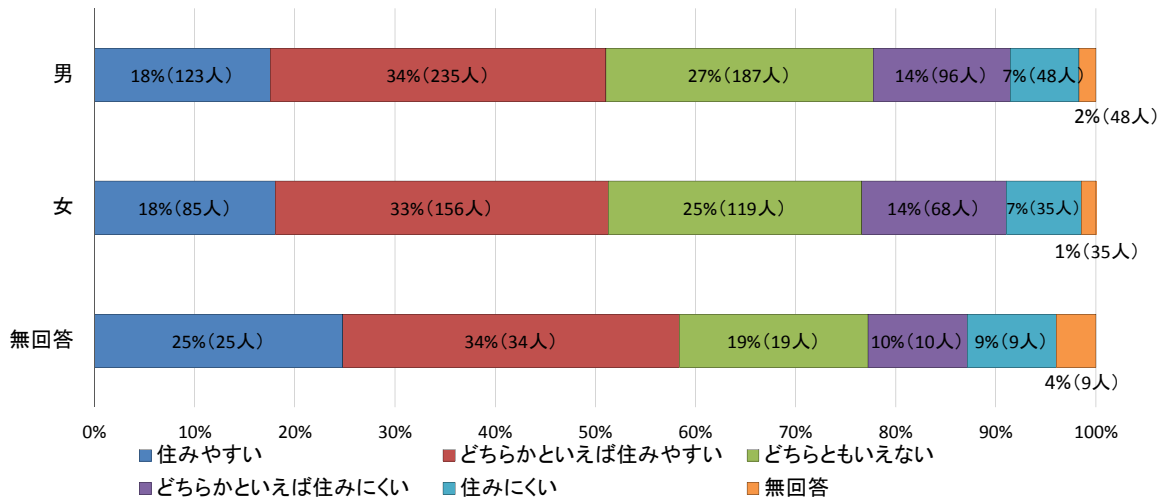
(単位:人)

	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	計
20歳未満	0	1	0	0	0	0	1
20歳～29歳	2	6	8	0	0	0	16
30歳～39歳	9	21	23	20	9	1	83
40歳～49歳	18	40	37	20	21	2	138
50歳～59歳	30	79	49	36	18	1	213
60歳～69歳	76	143	102	61	18	2	402
70歳以上	94	127	103	36	24	16	400
無回答	4	8	3	1	2	1	19
計	233	425	325	174	92	23	1272



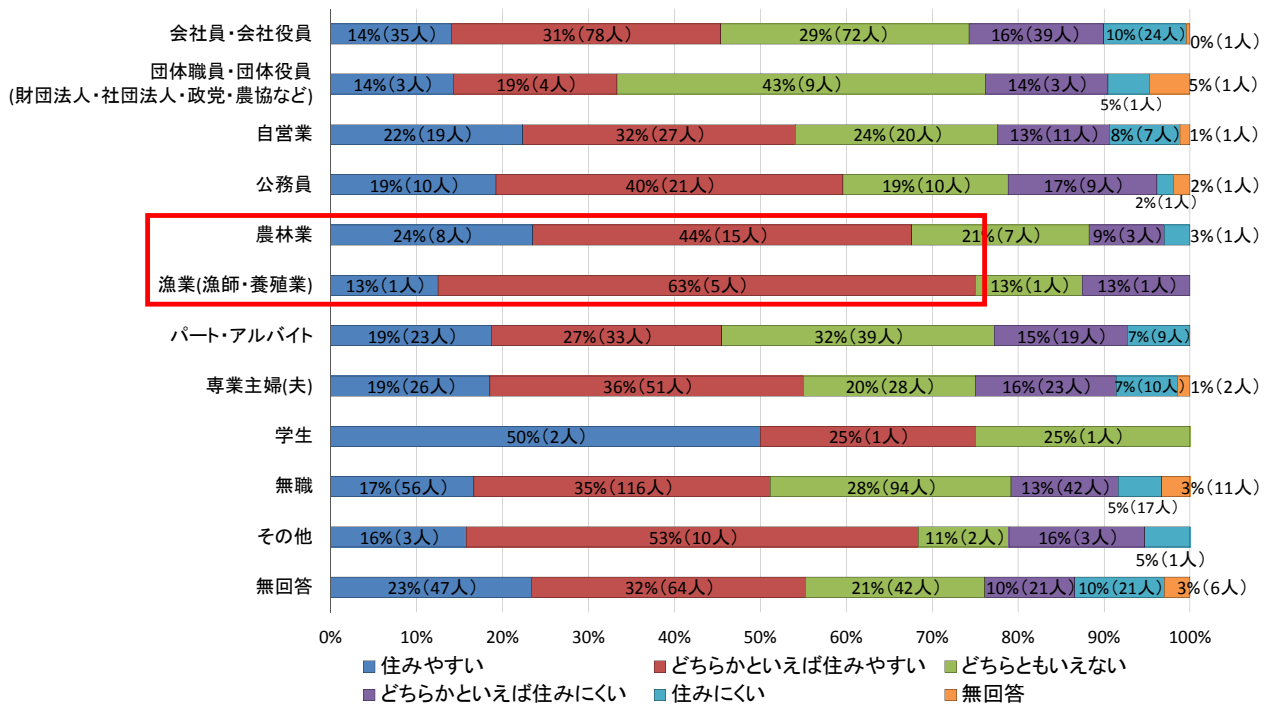
◆クロス集計【性別×住みやすさ】

性別で見ると、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が男性(52%)、女性(51%)とも多くなっており、性別では有意な差は見られなかった。



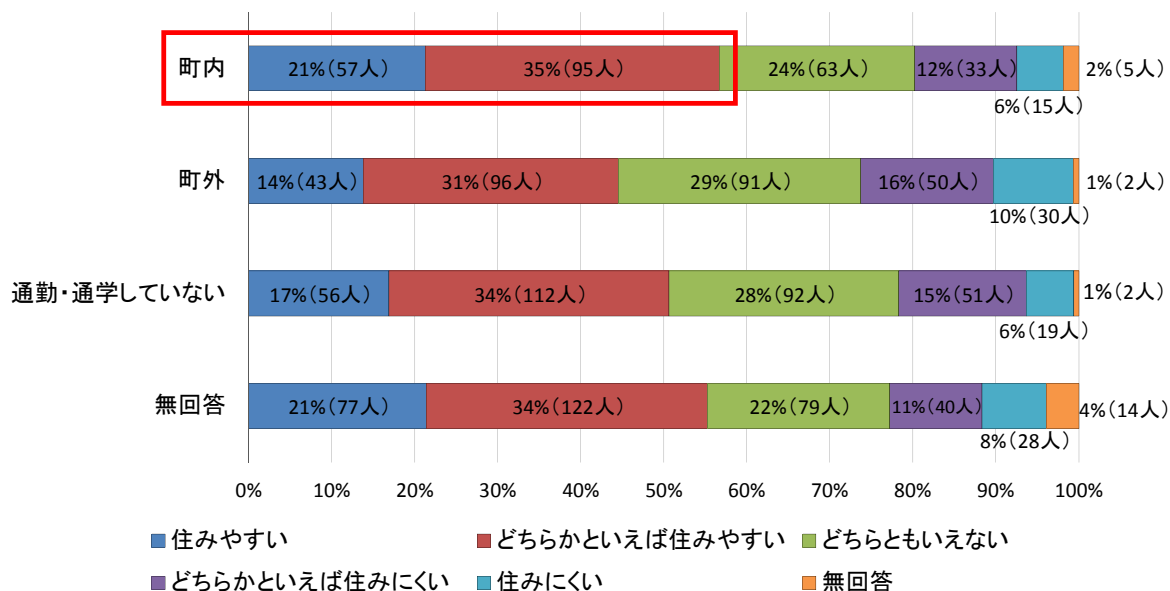
◆クロス集計【職業×住みやすさ】

現在の職業別に見ると、全ての職業で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、漁業(漁師・養殖業) (76%)、学生(75%)、農林業(68%)、公務員(59%)などが高く、**第一次産業従事者は住みやすいと感じている人が多い**傾向にある。



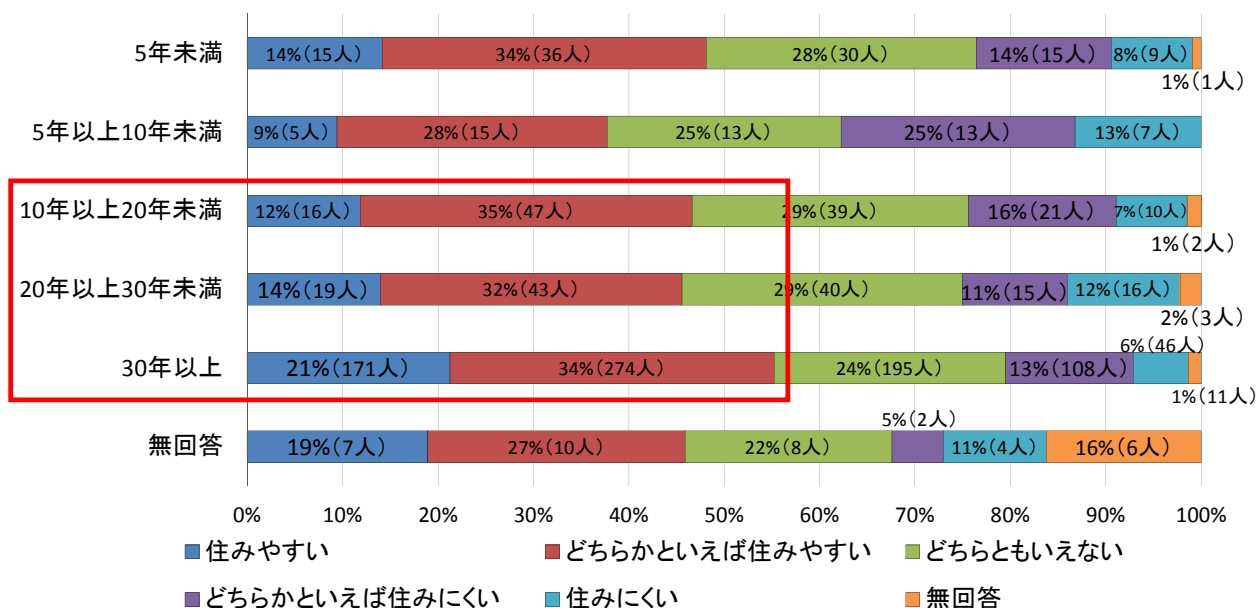
◆クロス集計【通勤・通学先×住みやすさ】

通勤・通学先で見ると、全ての通勤・通学先で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、町内(56%)が町外(45%)に比べて高く、町内に通勤・通学している人ほど住みやすいと感じている人が多い傾向にある。



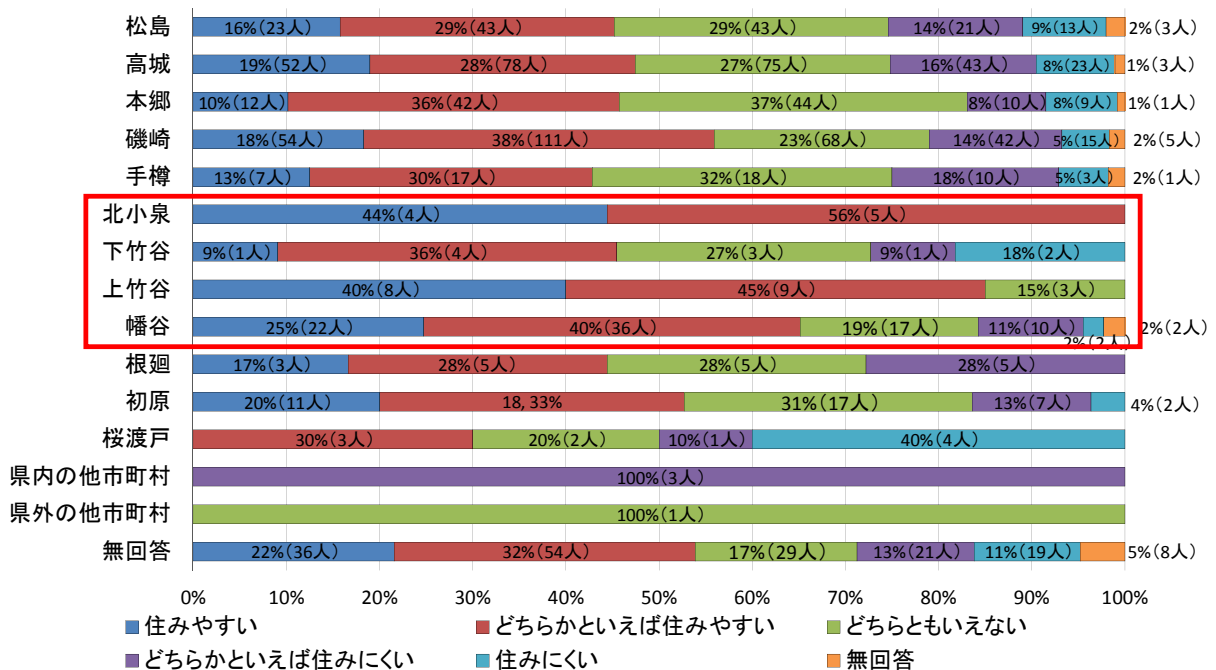
◆クロス集計【居住年数×住みやすさ】

居住年数別に見ると、全ての年数で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、30年以上(55%)、5年未満(48%)、10年以上20年未満(47%)、20年以上30年未満(46%)などが高く、居住年数の長い人ほど住みやすいと感じている人がやや多い傾向にある。



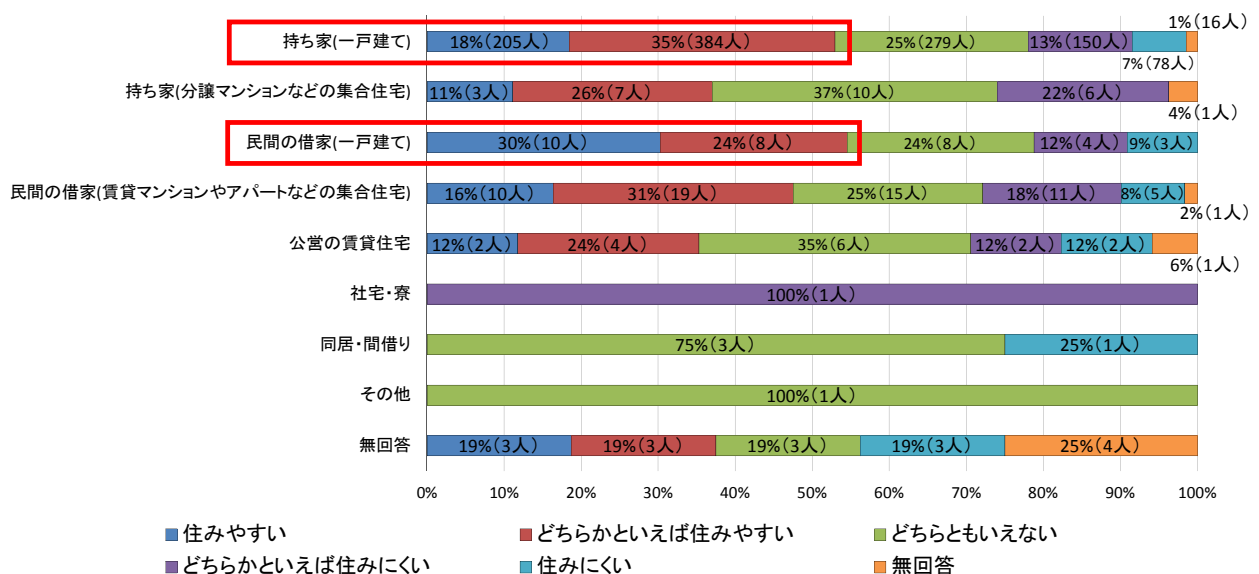
◆クロス集計【居住地×住みやすさ】

居住地別に見ると、全ての地域で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、北小泉(100%)、上竹谷(85%)、幡谷(65%)など、北部地域の人は住みやすいと感じている人が多い傾向にある。



◆クロス集計【住居の種類×住みやすさ】

住居の種類別に見ると、全ての種類で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、民間の借家(一戸建て)(54%)、持ち家(一戸建て)(53%)、民間の借家(賃貸マンションやアパートなどの集合住宅)(47%)などが高く、一戸建てに住んでいる人は住みやすいと感じている人が多い傾向にある。



◆クロス集計【家族構成×住みやすさ】

家族構成別に見ると、全ての構成で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が多くなっているが、特に、自分(たち夫婦)と親(59%)、三世代(親・子・孫など)(58%)、夫婦のみ(53%)などが高く、親と同居している人は住みやすいと感じている人が多い傾向にある。

